

# 消費者として



## 消費者問題研究者 林 郁

(元大阪府立消費生活センター所長)  
元武庫川女子大学教授

### 虫の目と鳥の目で時代に応える「消費者運動」を！

戦後、大阪と東京で女性たちが「主食のコメが配給されない」「配給のマッチに火がつかない」と怒り、消費者運動が始まりました。とくに大阪では知恵と情熱を働かせた女性たちが家族を守る一心から果敢な行動を展露しました。このことは特筆すべき出来事です。

戦後、大阪と東京で女性が求められるのです。暮らしの中から問題を発見する力が少ないことにお気づきでしょうか、高齢社会では足腰が弱ってくる人が増えるので上がり下がり両方が必要です。簡単に解決できなくても困難として主張することが大切です。エレベーターが端っこにあるのも問題でしょう。

消費者問題は普段の暮らしの中にあつても、まず消費者一人ひとりが問題を見つける力を高めなければなりません。「食品の表示が多すぎて読みにくい」「値段が同じでもいつの間にか中身が減っている」など、変だと思つたことはありませんか。大阪のような大都市に住んでいると交通はとても便利です。公営地下鉄が日本で初めて民営になりサービス向上に期待している人も多いでしょう。しかし地下鉄は上下移動がついてまわりません。エスカレーターは上りばかりが多くて下りが少ないことにお気づきでしょうか、高齢社会では足腰が弱ってくる人が増えるので上がり下がり両方が必要です。簡単に解決できなくても困難として主張することが大切です。エレベーターが端っこにあるのも問題でしょう。

これは一つの例ですが、個人が感じた問題を持ち寄り、議論して消費者目線で提言していくことが大切です。すでに皆さまは実行されておられると思いますが、さらにその幅と中身を充実させるため知識を増やし技を高めましょう。それを周りの方々に伝えていくことはあります。皆さまの周りに、さらに多くの人が集まるように継続の知恵を生かしましょう。

暮らしは豊かになり日々の暮らしは安定しているように見えますが、暮らしの問題は消費者問題に、まだまだ山積しています。問題を解決していくためには個人の力では限界があります。社会に影響を与えるための運動

暮らしを通して得た知と技を生かす力「ノーブル スピリッツ」という言葉があります。階級社会が残る欧州で言われるのですが、銀の匙をくわえて生まれた貴族は世のため人のために尽くす義務があるという事です。これを現代風にアレンジして「優れた知識や技を持つ人は社会のために尽くす義務がある」ではないでしょうか。団体活動で得られた様々な知恵や技を社会に発信していくことが大切です。すでに皆さまは実行されておられると思いますが、さらにその幅と中身を充実させるため知識を増やし技を高めましょう。それを周りの方々に伝えていくことはあります。皆さまの周りに、さらに多くの人が集まるように継続の知恵を生かしましょう。

暮らしは豊かになり日々の暮らしは安定しているように見えますが、暮らしの問題は消費者問題に、まだまだ山積しています。問題を解決していくためには個人の力では限界があります。社会に影響を与えるための運動

暮らしを通して得た知と技を生かす力「ノーブル スピリッツ」という言葉があります。階級社会が残る欧州で言われるのですが、銀の匙をくわえて生まれた貴族は世のため人のために尽くす義務があるという事です。これを現代風にアレンジして「優れた知識や技を持つ人は社会のために尽くす義務がある」ではないでしょうか。団体活動で得られた様々な知恵や技を社会に発信していくことが大切です。すでに皆さまは実行されておられると思いますが、さらにその幅と中身を充実させるため知識を増やし技を高めましょう。それを周りの方々に伝えていくことはあります。皆さまの周りに、さらに多くの人が集まるように継続の知恵を生かしましょう。

[お知らせ] 東瀬幸枝会長の「私の主張」は終了いたします。追って冊子としてまとめる予定です。